

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2023年																		
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月 ~1日	10月 ~8日
カンピロバクター	64	99	99	47	48	99	77	32	48	30	46	63	57	67	75	49	29	5	7
病原性大腸菌	88	90	30	53	40	44	45	81	47	37	55	103	120	108	102	56	52	11 (1)	5
腸管出血性大腸菌	1	1	10	2	0	2	0	0	1	1	4	1	0	1	0	1	1	0	0
サルモネラ	5	3	16	12	12	14	5	3	7	2	2	7	7	13	25	6	12	3	2
黄色ブドウ球菌 MSSA	32	22	26	19	13	20	18	11	15	10	13	14	21	8	12	15	18	2	9
黄色ブドウ球菌 MRSA	28	9	17	18	15	16	20	14	13	10	14	15	14	10	11	11	9	2	1
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
その他	1	3	4	1	5	4	1	2	1	1	2	0	0	4	8	2	1	0	0
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	1	5	7	3	2	2	6	0	0	1	2	2	2	0	0	0	0	0
ノロウイルス	0	0	1	0	0	0	1	2	14	11	6	1	1	0	0	0	0	0	0

()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和5年第40週(10月2日~10月8日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	3	結核	3			1			1	1
三類	0	発生なし	0							
四類	12	日本紅斑熱	9			5			1	3
		レジオネラ症	3					3		
五類	6	急性脳炎	1					1		
		梅毒	5					4		1

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町

西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
北…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

■コメント

1 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり4.39人の報告がありました。減少傾向ですが、学校や高齢者施設等での集団発生が続いています。手洗い、こまめな換気、効果的な場面でのマスク着用など、基本的な感染対策を徹底しましょう。

2 インフルエンザ

定点当たり4.83人の報告があり、前週と比べるとほぼ横ばいです。また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖が7件報告されています。手洗い、咳エチケット、換気などの感染予防対策を心がけましょう。

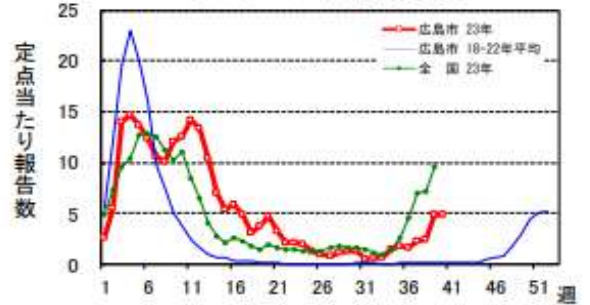
3 手足口病

定点当たり3.42人の報告があり、多い状況が続いています。手洗いの励行、オムツの適切な処理などの感染予防対策を心がけましょう。

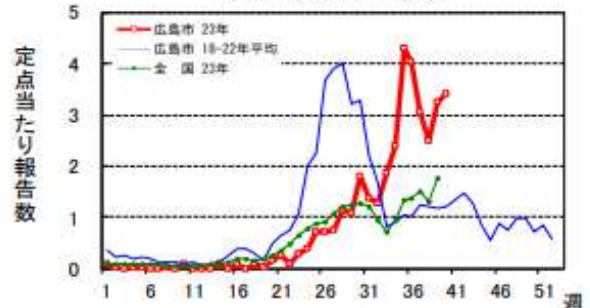
4 ヘルパンギーナ

定点当たり1.67人の報告があり、前週と比べるとほぼ横ばいです。手洗いの励行、オムツの適切な処理など、感染予防対策を心がけましょう。

インフルエンザの流行状況



手足口病の流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間(注))	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間(注))	発生記号
インフル	インフルエンザ	174	4.83	0.09	⇒	小児科	ヘルパンギーナ	40	1.67	0.65	⇒
	新型コロナ(COVID-19)	158	4.39		⇒		流行性耳下腺炎	1	0.04	0.09	
小児科	RSウイルス感染症	4	0.17	0.80		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
	咽頭結膜熱	12	0.50	0.19			流行性角結膜炎	9	1.13	0.53	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	53	2.21	0.99	⇒	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
	感染性胃腸炎	52	2.17	2.65	⇒		無菌性髄膜炎	-	-	-	
	水痘	1	0.04	0.10			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.06	
	手足口病	82	3.42	1.20	⇒		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	伝染性紅斑	-	-	0.12			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	
	突発性発しん	4	0.17	0.23							

急増減 ↑ ↓ 前週と比較しておおむね1:2以上の増減

増減 ↗ ↘ 前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減

微増減 ↖ ↙ 前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減

横ばい ⇨ ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
4	レジオネラ症	3	31	50歳代・推定感染地域: 国外、70歳代、80歳代
5	急性脳炎	1	4	10歳未満
5	梅毒	4	226	20歳代・3人、50歳代・1人